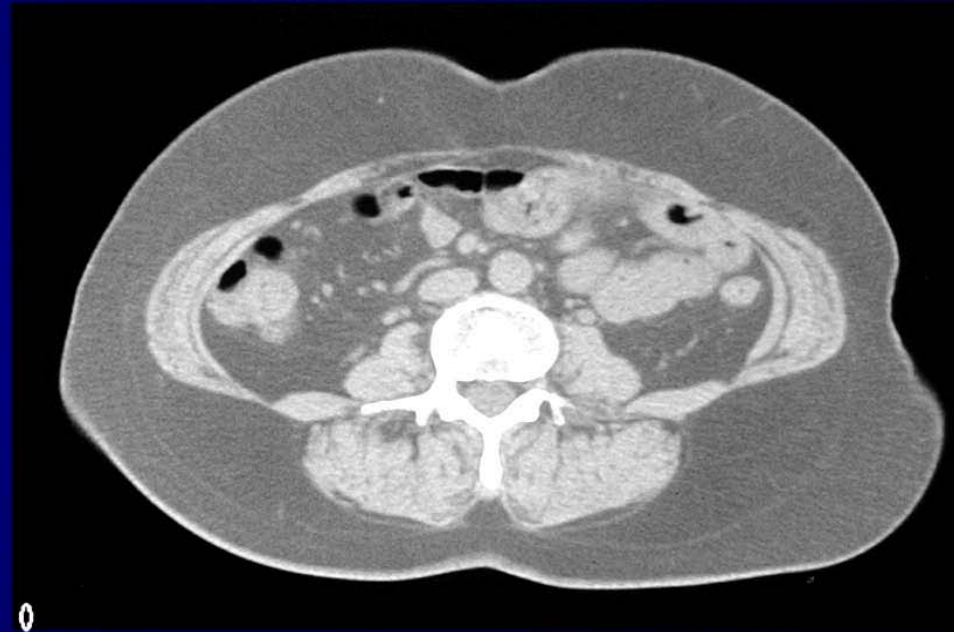


Gender Difference in Abdominal Fat Distribution

48 y.o. Male



56 y.o. Female



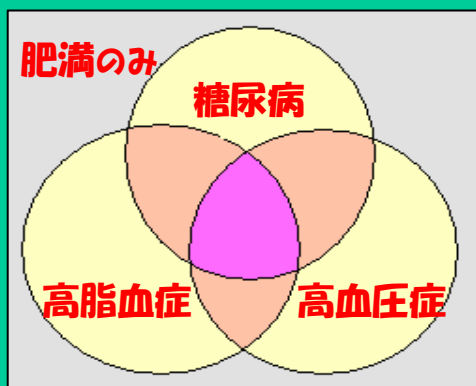
Waist (cm)	86.5
VFA (cm²)	155
SFA (cm²)	118

90.5
81
308

メタボリックシンドロームを標的とした対策が有効と考えられる3つの根拠

第1の根拠

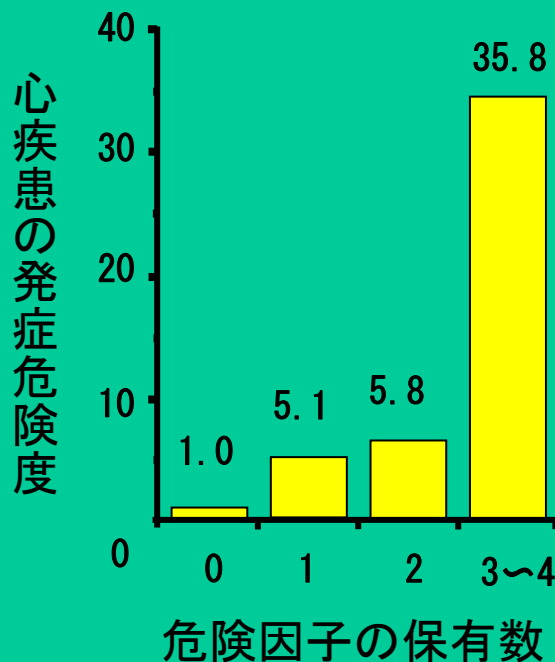
肥満者の多くが複数の危険因子を併せ持っている



肥満のみ 約20%
いずれか1疾患有病 約47%
いずれか2疾患有病 約28%
3疾患すべて有病 約5%

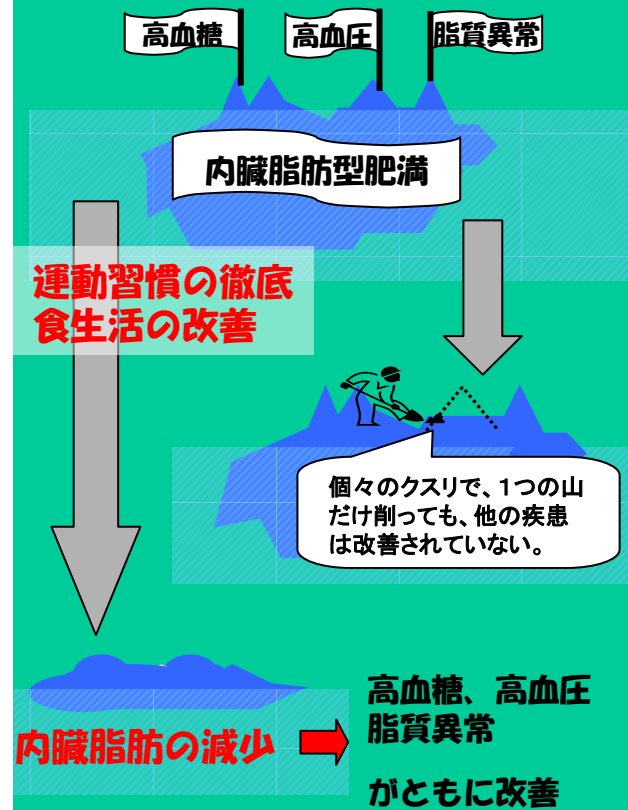
第2の根拠

危険因子が重なるほど脳卒中、心疾患を発症する危険が増大する



第3の根拠

生活習慣を変え、内臓脂肪を減らすことで危険因子のすべてが改善

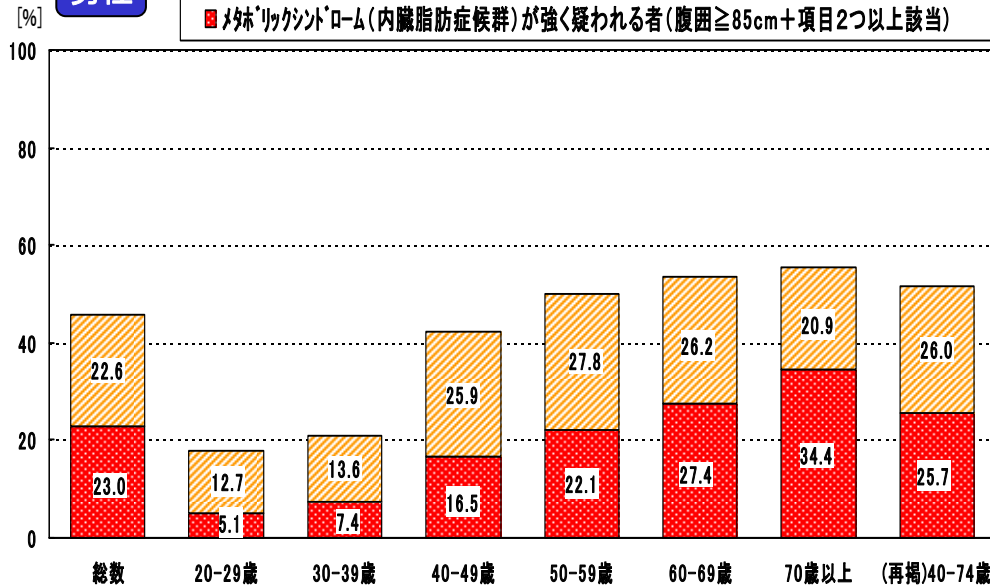


メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)有病者・予備群の状況

40~74歳については、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者又は予備群と考えられる者であり、**有病者数 約940万人 予備群者数 約1,020万人 併せて 約1,960万人**と推定される。

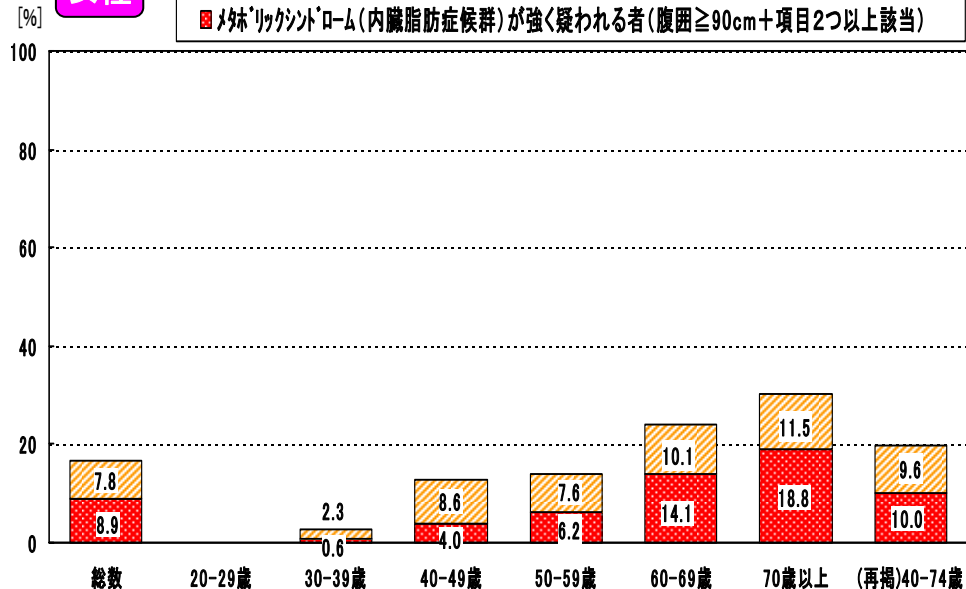
男性

■ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者(腹囲 \geq 85cm+項目1つ該当)
■ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者(腹囲 \geq 85cm+項目2つ以上該当)



女性

■ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者(腹囲 \geq 90cm+項目1つ該当)
■ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者(腹囲 \geq 90cm+項目2つ以上該当)



メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者
 腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち2つ以上の項目に該当する者

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者
 男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち1つに該当する者

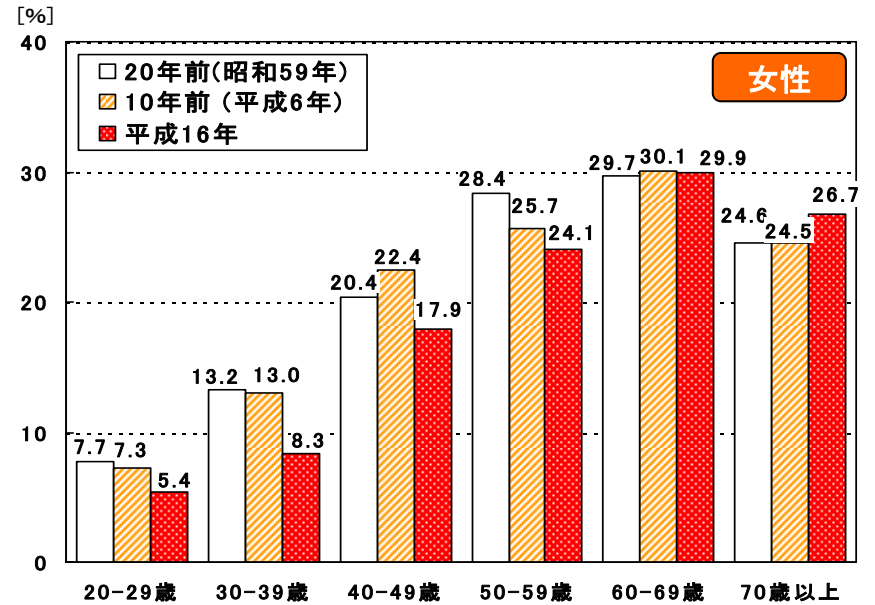
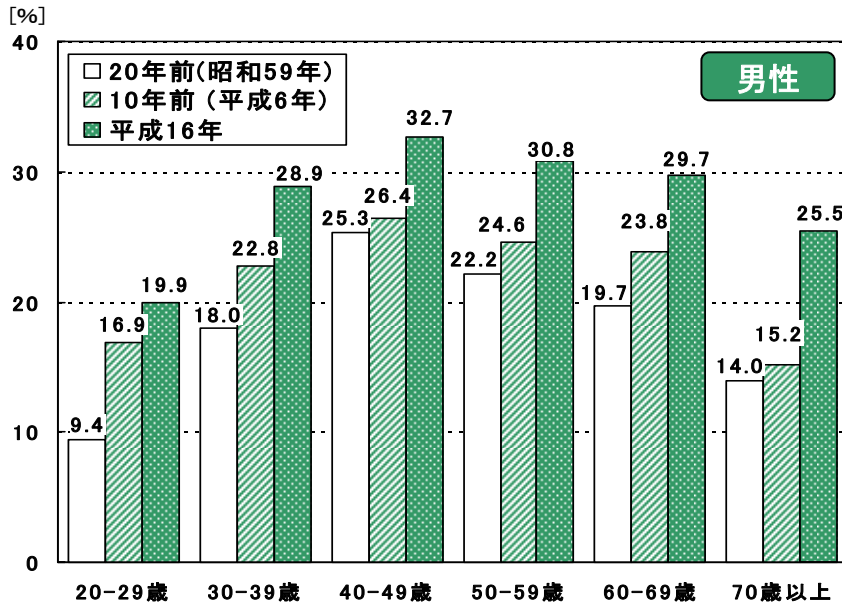
腹

腹囲が

(厚生労働省

平成16年国民健康・栄養調査結果)

肥満者(BMI \geq 25)の割合 (20歳以上)



低体重(やせ)の者(BMI<18.5)の割合 (20歳以上)

